

看護師の皆さんが安心して派遣で働くために

# 『派遣看護師のメリットとデメリット』

2024年 2月 22日

日本派遣看護師協会

# 目次

- 1 派遣看護師のメリット①
- 2 派遣看護師のメリット②
- 3 派遣看護師のメリット③
- 4 派遣看護師のメリット 当協会が実施したアンケート調査結果より
- 5 派遣看護師のデメリット①
- 6 派遣看護師のデメリット②
- 7 派遣看護師のデメリット 当協会が実施したアンケート調査結果より

## 1. 派遣看護師のメリット①

「派遣って正社員と何が違うの?」「収入が不安定なのでは?」と気になる方もいるでしょう。みなさんの不安や疑問を解消するために、派遣看護師のメリット・デメリットについても解説します。

### 派遣看護師の時給は他の分野の派遣社員より高い傾向にある

派遣のお給料は基本的には時給制。とはいえ、同じく時給制のアルバイトやパートと比較すると、月収はかなり高めになります。正職員/正職員と比較した際、ボーナスは出ないものの、時給が高く、月々の手取りが高いため、年収で見ればそこまで見劣りすることはありません。また、お給料の水準が低い地方エリアやお給料の低い医療機関でも、派遣なら比較的高給与で働ける可能性があります。

### 条件や希望に合わせて働きやすい

派遣看護師は、**勤務地や勤務日数、仕事内容などの条件によって希望する職場を選ぶことができ**、勤務時間や勤務日数も雇用契約で定められています。自分の時間を使って、資格取得の勉強などをしている人には最適な仕事環境といえそうです。資格取得後は、現在の派遣会社での契約更新はせず、資格に合った仕事を探すことも可能です。



## 2. 派遣看護師のメリット②

### 残業等時間的制約にも配慮されている

派遣の場合は、**勤務時間が決められているので、契約時に結んでおけば、残業することはほとんどありません**。もし、やむを得ず、残業が続いてしまった場合は、派遣会社から派遣先に対して、残業をさせないように連絡を入れてもらうことができます。ご自身で交渉する必要はありません。また、残業代はきちんとつきますので、サービス残業になる心配もありません。日勤のみ、夜勤のみなど、時間の希望を打診できるので、ある程度は希望の内容で働くことができます。例えば、特定の曜日を休みたいなどの相談可能です。ただし、条件を付けすぎると、働ける就業先が絞られてしまいますので、過度な条件提示は禁物です。

### 研修・教育制度が充実している

派遣看護師は、即戦力という前提で派遣されることが多く、正社員のような入職時の教育研修などがないケースもありましたが、**「同一労働同一賃金」の導入によって「職務に必要な教育訓練の機会の提供もおこなわなければならない」と制度が変わりました**。また、2015年9月に改正された労働者派遣法によって「派遣労働者のキャリアアップを後押しする計画的な教育訓練の実施」が各派遣会社に義務づけられています。以下のようなキャリア形成の支援制度がなければ、労働者派遣事業の認可がなされません。

### 3. 派遣看護師のメリット③

#### 職場の人間関係に巻き込まれにくい

派遣看護師は医療機関の職員ではなく、派遣会社の従業員です。そのため多くの職場では、外部の人間として、丁重に扱われます。わかりやすく言うと、全員が師長から呼び捨てで呼ばれるような職場でも、派遣の人だけは「〇〇さん」と呼ばれることが多いようです。そのため、**職場の人間関係と距離を置いた働き方ができたり、陰湿なイジメに巻き込まれにくい**メリットがあります。もちろん、派遣だからといって、仲良しの人ができないわけではありません。あくまで人間関係が悪い方に転びにくいという点が、派遣で働くメリットの1つです。

#### 責任が重い仕事や委員会・勉強会は免除される傾向

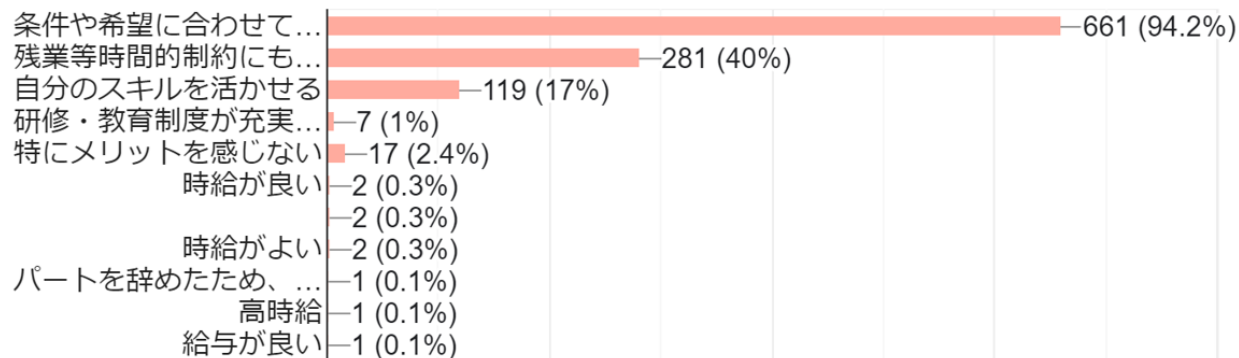
仕事の専門性は正職員/正社員ナースと変わらないものの、難しい患者さんや重たい責任を伴う仕事は、優先的に正職員/正社員ナースに割り振られます。加えて、係や委員会、勉強会は、派遣に参加させると医療機関が残業代を支払わねばならなくなるため、大抵の場合、免除されることが多いです。

#### サービス残業がない

**サービス残業をしなくて済む、というのは派遣で働く大きなメリット**。直接雇用と違って職場と個人の間には派遣会社が入るため、残業代や深夜手当は原則全額支給されます。金額は、1日の労働時間が8時間を超えると一時間あたり時給の25%以上の残業手当（割増賃金）。さらに22時～朝5時の労働は深夜手当（割増賃金）の支給対象となり、時給の50%以上の手当が別途支給されます。

派遣ナースが正職員/正社員の人よりも早めに帰ってしまうのは、派遣先が残業代を支払いたくないため、派遣ナースには残業を頼まないから、というのが大きいのです。

## 4. 派遣看護師のメリット 当協会が実施したアンケート調査結果より



	154.2%
条件や希望に合わせて働きやすい	94.2%
残業等時間的規制にも配慮されている	40.0%
自分のスキルを活かせる	17.0%
その他	3.0%
説明	ワークライフバランスを重視している回答者が多い結果となりました。また本項目は複数回答可のため合計は100%になりません。

## 5. 派遣看護師のデメリット①

### 同じ職場で働き続けることができない

派遣看護師は、雇用期間に制限があるため、同じ職場で働き続けることはできません。一般的には3カ月または6カ月間の雇用期間で雇用契約を結び、契約更新をしながら働き続けることとなります。派遣先の事業所における同一の組織単位で働くことができる上限は3年間。それ以上は契約更新することができません。もし3年を超えて同じ職場で同じ仕事を続けたい場合は、勤務先の病院や企業、施設に直接雇用、または派遣元で無期雇用してもらうという方法があります。同じ職場で長く働きたいと希望する場合は、最初から「紹介予定派遣」を検討してみましょう。紹介予定派遣であれば、病院や介護老人保険施設といった医療機関で働くことも可能です。

### 求人倍率が高い

病院では常に看護師が働いておりますが、一般派遣で長く働こうと思うと産前産後休暇の間しか働くことができないことや募集枠も1名もしくは2名と少ないケースが多いです。また、介護施設では、何名に対して看護師は最低1名などと、人員配置の基準が決められているケースも多いです。そのため、多くの看護師を必要とせず、正社員やパートで人数が足りていれば、派遣看護師をわざわざ受け入れない場合もあるため、ある程度働き方の条件に柔軟性を持たせておくのがおすすめです。



## 6. 派遣看護師のデメリット②

### 同じ施設・病院で働き続けても昇給の可能性が低い

同じ派遣先での派遣期間が長くなったとしても、あまり多くの昇給は見込めないと考えておいた方が賢明です。派遣会社の中には、経験年数によって昇給するシステムを導入しているところもあるかもしれませんが、多くはありません。

また、派遣事情なのですが、派遣先によって派遣看護師に支払うことができる給料水準がある程度決まっていますので、高望みしすぎてしまうと、働ける職場が限られてしまう状況になりますので注意が必要です。昇給ではなく、派遣の働き方にメリットを感じられる場合でないと、長く働き続けることが難しい場合があります。

7

### 派遣だと住宅ローン等の審査に通りにくくなる場合がある

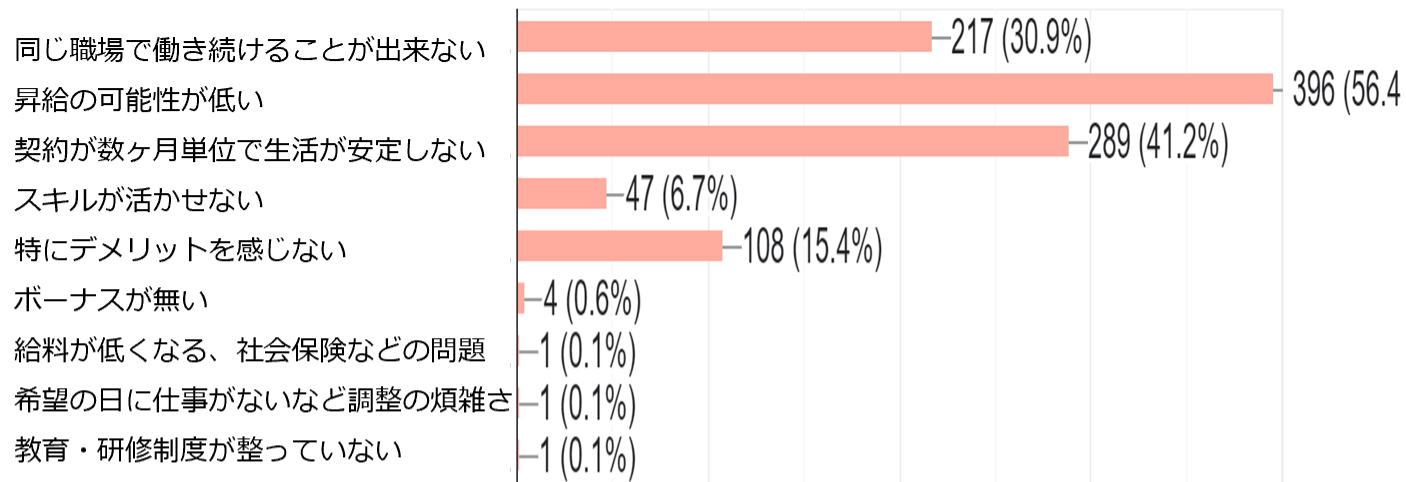
住宅ローンなどでは、年収の○倍までしかお金を貸しません、といったルールが定められています。このとき、金融機関によっては、派遣の年収を正職員と同等に扱わない（正職員の1/2で計算する、またはゼロとみなす、など）場合があり、審査時に不利になる場合があります。住宅ローンなど消費者金融でローンを組む予定がある人は、あらかじめ金融機関のホームページや相談会などをチェックしておくとうよいでしょう。

### 年齢と給与額が比例しないことがある

看護師派遣の給与は、年齢・経験に関係なくほぼ一定。そのため20～30代には高めのお給料を受け取れるメリットがありますが、ベテラン世代ともなると、同年代の正職員/正社員と比較して、物足りないと感じることがあるかもしれません。もちろんパートやアルバイトで働くよりは多くの金額を得られますから、ご家庭やプライベートの事情に基づいて派遣を選択すると良いでしょう。



## 7. 派遣看護師のデメリット 当協会が実施したアンケート調査結果より



	150.6%
昇給の可能性が低い	56.4%
契約が数ヶ月単位で生活が安定しない	41.2%
同じ職場で働き続けることが出来ない	30.9%
その他	22.1%
説明	主に給与の面で不安定さを感じる回答が多い結果となりました。 また本項目は複数回答可のため合計は100%になりません。